

第4章 基本的な考え方

橘小学校等複合化整備事業の基本的な考え方については、整備構想において整理した考え方を継承し、取り組みを進めていきます。整備構想における「整備コンセプト」及び「整備方針」は次のとおりです。

1 整備コンセプト

本施設は、橘小学校と中生涯学習センター、前津福社会館、前津児童館を複合化して整備するメリットを生かし、安全・安心で質の高い教育環境の実現を図るとともに、乳幼児から中高生期に至る子どもたちの育ちや、子どもから高齢者に至る幅広い世代の学びや福祉に資する施設として整備します。また、避難所としての防災機能の強化を図ります。

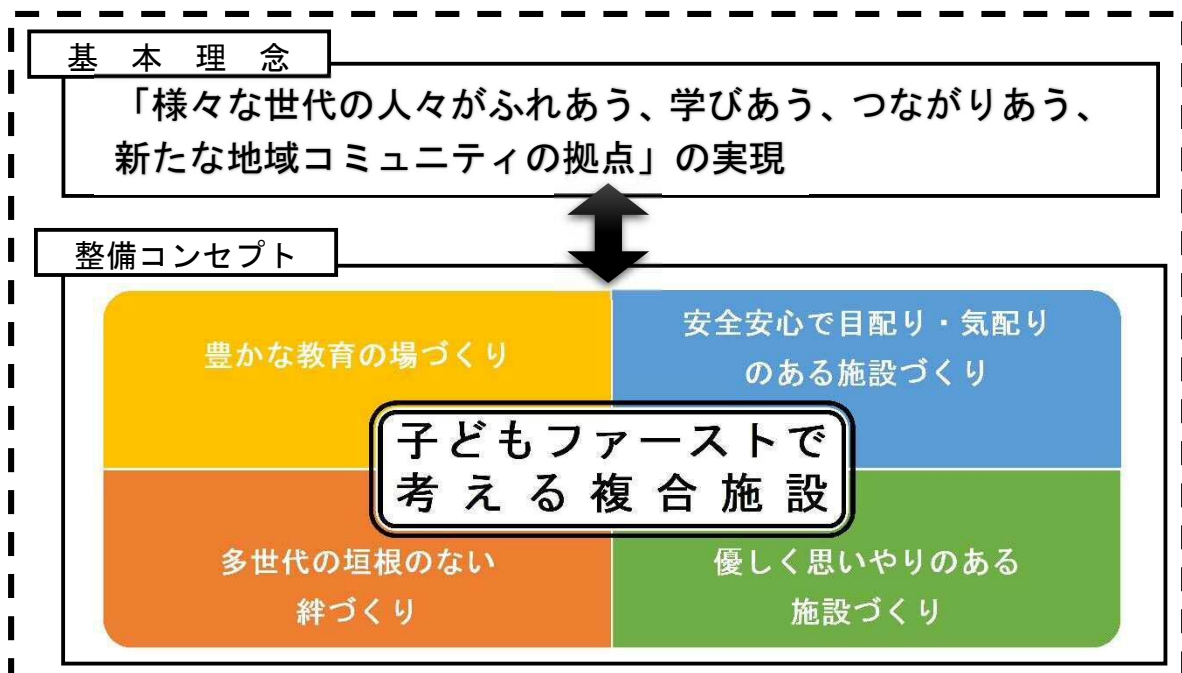
なお、本施設は「様々な世代の人々がふれあう、学びあう、つながりあう、新たな地域コミュニティの拠点」の実現を基本理念としつつ、橘小学校等複合化整備ワークショップ等による市民・利用者等の意見を踏まえ、施設の整備のための整備コンセプトを次の通りとします。また、そのコンセプトを実現するためのキーワードについても設定し事業を進めていきます。

<整備コンセプト>

子どもファーストで考える複合施設

<基本理念と整備コンセプトを実現するためのキーワード>

- ・豊かな教育の場づくり
- ・多世代の垣根のない絆づくり
- ・安全安心で目配り・気配りのある施設づくり
- ・優しく思いやりのある施設づくり



2 整備方針

基本理念及び整備コンセプト実現のために、複合施設全体に共通する整備方針、学校と生涯学習センター、福社会館、児童館それぞれの施設ごとの整備方針を次のとおりとします。

また、複合化にあたっては、「名古屋市公共施設等総合管理計画」に基づき、各施設の類似・重複する機能（部屋）について、利用実態を踏まえ、共有・統合の検討を行うなど、機能重視の視点で進めるとともに、学校と各施設の単なる合築ではなく、市民目線・利用者目線に立った効率的で一体的な運営・管理をめざすことなど、ソフト面の工夫をすることにより、市民サービスの向上をめざします。

その他、将来の児童数の増減や社会的ニーズの変化などに柔軟に対応できるよう、スケルトン・インフィル方式の採用など、将来の用途転用を行いやすくするような柔軟な設計、整備手法の導入を検討します。

【共通】

- 人々がふれあい、絆が深まる、優しく思いやりのある施設づくり
- 安全・安心な施設づくり
- 周辺環境に配慮した施設づくり
- 脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な施設づくり

【学校】

- 行きたくなる学校づくり
- 子どもたち一人ひとりの個性に応じた多様で質の高い学びが促進される学校づくり
- 交流や学びあいを通じ、様々な発見や体験ができる学校づくり
- 安全・安心な学校づくり
- 子どもたちに豊かな放課後を提供する学校づくり

【生涯学習センター】

- 質が高い学びが保障され、多様な学習ニーズに応える学びの場づくり
- 新たな交流により創出された学びを活用できる場づくり
- 誰もが気軽に生涯にわたる学びやスポーツ・レクリエーションを楽しめる施設づくり
- 誰もが気軽に生涯学習を親しむことができる施設づくり

【福社会館】

高齢者が新しい趣味づくりや、仲間づくりといったシニアライフを充実させ、好きな時に気軽に来て、自由に過ごしたくなる福社会館づくり

- 気軽に立ち寄ることができる、出かけたくくなるような福祉会館づくり
- 新しい魅力にあふれる福祉会館づくり
- 様々な世代とふれあうことで、生きがいを持てる福祉会館づくり
- 利用者に優しく思いやりのある福祉会館づくり

【児童館】

乳幼児期から中高生世代までの全ての子どもが魅力を感じられる児童館づくり

- 子どもが自ら利用したくなり、自由にのびのびと遊べる児童館づくり
- 中高生世代にとって居場所としての魅力があふれる児童館づくり
- 様々な体験や交流を生みだし、子どもが自身で成長していく児童館づくり
- 子どもが抱える悩み等に気づき、適切な対応をしていける児童館づくり
- すべての利用者が安全・安心で快適に過ごせる環境整備